

みんなとともに笑顔いっぱい — 「学びあい」「認めあい」「高めあい」 —



みんなとともに



「委員会の力」にはすごいものがあると最近感じます。自分の仕事があると、皆登校が早いのです。学校にも“生き甲斐”が必要なのです。自分の居場所がある、自分が必要とされている、という思いは、「行動を変える力」があるようです。そんな子どもたちの姿を見ていると、とてもうれしく思います。「コロナ」が本校に近づかず、このまま今の生活が続いてほしいと願っています。



新しい学年になっての抱負

4月22日（木）に行われた全校集会での「めあての発表」の原稿を掲載します。1つ学年が上がっての意気込みを感じます。その気持ちを継続して、子どもたちには「みんなで高めあってほしい」と思っています。

「3年生でがんばりたいこと」 矢澤 るり

わたしは、3年生でがんばりたいことが3つあります。

まず、1つ目です。1つ目は、かん字をまちがえないでおぼえることです。2年生のときは、いろいろなかん字が頭の中でまざってしまっていたので、3年生では、それをなおしたいと思っています。

つぎに、2つ目です。2つ目は、ぎょうかん休みのあと1分前にせきにつくことです。2年生のときは、おくれてしまったときがあったので、3年生では、1分前には、せきにつけるようにしたいです。

さいごに、3つ目です。3つ目は、つめを毎週さることです。2年生のときは、つめをきらなくて、あふないときがあったので、3年生では、それをなくしたいと、思っています。

2年生でがんばれなかったぶん、3年生でがんばりたいです。

「5年生になって」 石田 爽

ぼくは、5年生になって感じていることが3つあります。

1つ目は、先生が代わって、教科書も変わり、勉強することが新しくなったことです。5年生の学習は、新しい発見がたくさんあります。授業では、答えだけを教わるのではなく、いろいろな豆知識がたくさん出てきます。だから、ぼくは、このごろ夢中になって授業を聞いてしまいます。家庭学習も、75分になってたいへんです。まだ、できない日もありますが、がんばっているところです。

2つ目は、鼓笛の練習が本格的に始まったことです。ぼくの楽器は、トランペットです。4年生の時は楽しむを見て練習したけれど、5年生になったら全体練習なので楽しむを見ません。だから、なかなか上手にふけないこともありました。でも、みんなで音を合わせるとすごく楽しくて、演奏する力がわいてきます。

3つ目は、高学年になったので、6年生をお手本にして、サブリーダーの役割があることです。今までは、何をするのに上級生に守ってもらっていました。これからは、自分たちが守る側となって、下級生を助けていかなければなりません。

この3つの感じたことを通して、ぼくは、「なりたい5年生」という目標ができました。

まず、授業は一つ一つに興味を持って、楽しく真ん中に取り組む5年生です。

次に、だれかを守るのには、まず自分がやるべき時にしっかりできるようになることです。

最後に、みんなで一つのことをやり遂げる楽しさを知りたいということです。そして、「5年生最善計画」で全国の5年生に負けない5年生になりたいと思います。

この目標を、5年生になったぼくの胸に強くきざんで学校生活を送りたいと思います。

【校長のつぶやき】 その67 「発達課題」

小学校における子どもの成長には大きなものがある。外見は同じようでも、内面には大きな変容がある。子どもは大人の言うことを聞く存在だと思っていると、大きなしっぺ返しをくらうこともある。

1年生…教師や親がいいとすることをいいと判断し、いけないといっている事柄をいけないと判断する。

2年生…教師や親のような権威のある人の言動によることが大きい。他律時代からの脱皮は不完全である。

3年生…教師や親には次第に批判的になり、反抗的な態度をとることもある。

4年生…規範が中間内にあるので、大人の規範とは合い入れないものも生ずる。

5年生…他人にも自分にも厳しく対するようになり、多少ぎくしゃくすることも起きがちである。

6年生…ほぼ大人と同様のレベルに達する。社会的な正義感も強まる。

大人を批判するような言動があったときは“喜ぶべきこと”なのである。内面が成長し、大人に近づいた証拠である。そして、どの子にとってもこの「発達課題」を一つ一つクリアしていくことが必要なことになる。